

<夏原グラント市民環境講座 2021 参加報告>

6月26日(土)13:30~草津市立市民総合交流センターにて

「地球環境へのまなざしを持つ地域に根ざした環境保全活動」

講師：仁連孝昭氏 夏原グラント選考委員会委員長、滋賀県立大学名誉教授

夏原グラントの助成を受けている団体は参加義務があるということで、H氏と受講して来ました。

地球環境の現況と対策についてのお話でした。現在の地球環境が悪化している事、その悪化を食い止めるためには、自然とのつながりを体感する事と、こだわり過ぎず楽しみ経済的に成り立つ実践が重要との事。解決するための必要な4つの事として、SLOCをあげています。Small=小さな組織、Local=地域に根ざしている、Open=情報開示、Connected=地域同士の繋がり。小さな組織で地域に根ざした活動をし、情報の開示によって地域同士がつながる事で新しいものが生まれ、大きな変化となるという事とでした。

今の私にはなかなか理解しづらく、もっと詳しくしっかりお伝え出来ない事をお詫びします。その中で当会の課題としては、Open情報開示かなと思いました。清掃登山や水質検査・放射線測定について、もっと世間にお知らせする方法を今後皆さんと一緒に考えていきたいです。